

笠間市立岩間第一小学校 学校長：中山 清

【実施日時】	平成20年12月22日(月) 9:00~12:10
【参加者と人数】	1~6年生 351名
【コーディネーター】	山形 正子
【講師】	オラシオ・オリヴェラ(ウルグアイ) タスファイエ・ガライヤ(エチオピア) 新垣マリア(ペルー)
【活動内容】	初めの言葉 挨拶 講師の自己紹介 英語の歌 ゲーム(講師の出身国ゆかりの遊び) 英語劇「赤ずきん」 お礼の言葉 終わりの言葉を基本とし、児童の発達段階に応じて講師の自己紹介の内容をかえ、英語の歌では児童とふれあうことができるような歌や振り付けを取り入れた。高学年ブロックは、特に講師のパフォーマンスの時間を多く取り外国の言葉や文化、人々への興味や関心が高まるように配慮した。赤ずきんの英語劇では、各ブロックとも狩人役に本校職員が台詞を覚えて役に臨んだ。
【参加者の感想】	エチオピアの民族楽器がとても楽しくてエチオピアについて興味をもった。 ペルーやウルグアイ、エチオピアの遊びは日本と少しにているものがあったとても楽しく遊べた。民族衣装はいろいろな色を使ってすてきだった。 ウルグアイのマテ茶は日本のお茶と少し違うことが分かった。ぜひ飲んでみたいと思った。じゃんけん遊びはとても楽しくて家で家族にも教えた。 英語劇について...みんな英語が上手ですごい。とても面白かった。英語がよく分からなくても話している人の動きや表情を見て想像して分かった。 とてもわくわくして楽しかった。来年もまた来てほしい。
【担当者の感想】	講師の出身国の特色ある物(衣服・飲み物・楽器)を持参し説明してくれたので、それぞれの国の文化に直接ふれることができ有意義だった。 英語劇がよかった。読み聞かせもよいがより訴える力があり、動作から英語の台詞も理解しやすかった。また、各ブロックから教師が劇に参加したことが児童により親しみを持たせ英語を身近に感じることができ効果的だった。 開始時刻が30分遅れたため、プログラム内容が大幅にカットされたことが残念だった。また、キャストの個性を生かしたプログラムにしたかった。

